

会 議 録

名 称	令和4年度 第1回 大垣市地域福祉計画策定・評価委員会		
日 時	令和4年8月8日(月) 午後1時29分～午後2時27分	会 場	市役所 8階 大会議室
出席者 (欠席者)	<p>【策定・評価委員】※敬称略 [出席委員(19名)] 山田 武司、後藤 康文、伊藤 浩明、伊藤 哲也、津汲 智麿、栞山 一嘉、岡本 敏美、中山 恵二、中村 優貴、山田 明子、西田 勝嘉、鈴木 由美子、野田 正興、服部 茂子、石井 久美子、溝口 隆司、三輪 正直、早野 展子、安田 笑子</p> <p>[欠席委員(3名)] 加藤 悟司、堀 和英、丹下 文恵</p> <p>【事務局】 (健康福祉部) 三浦部長 (社会福祉課) 篠田課長、小川主幹、宮脇主査、萩永主事 (障がい福祉課) 大澤課長、(高齢福祉課) 平松課長、(子育て支援課) 浅井課長、(保健センター) 酒井所長、(まちづくり推進課) 中川課長、(危機管理室) 竹内室長、(大垣市社会福祉協議会) 大橋事務局長、國枝補佐</p>		
傍聴者数	1	記録方式	要約
<p><社会福祉課長></p> <p>定刻前ではございますが、ただいまから「令和4年度 第1回 大垣市地域福祉計画策定・評価委員会」を開催させていただきます。</p> <p>それでは、はじめに、大垣市健康福祉部の三浦部長がご挨拶を申し上げます。</p> <p><健康福祉部長></p> <p>本日は、ご多用のところ、地域福祉計画策定・評価委員会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>委員の皆様におかれましては、日頃から市政全般、とりわけ地域福祉の推進に格別のご尽力をいただき、ありがとうございます。</p> <p>皆様におかれましては、コロナ禍においても、各分野におかれまして、地域福祉を後退させることのないよう日々ご努力いただいておりますこと、この場をお借りしてあらためて感謝申し上げます。</p> <p>さて、地域福祉計画は、本市の地域福祉を総合的に推進するうえで柱となる計画でございます。まして、本年は、令和元年度から令和5年度までの計画期間である「第四次地域福祉計画」</p>			

の4年目の年でございます。

本日の委員会では、第四次地域福祉計画に基づき、昨年度に取り組みました事業実績と、今年度に予定しております事業計画について、ご審議を賜るものでございます。また、来年度策定いたします「第五次地域福祉計画」についてもご説明させていただきます。

委員の皆様におかれましては、地域福祉全般について、忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

< 社会福祉課長 >

それでは、議事に入ります前に、委員の皆様方の本日の出席状況についてご報告させていただきます。

委員定数22人のうち、本日の出席委員は19名でございます。

したがって、委員会設置要綱に規定する過半数の委員の出席要件を満たしておりますので、本日の委員会が成立しておりますことをご報告させていただきます。

続きまして、今回から新たに5名の方に委員としてご就任をいただいておりますので、ご紹介させていただきます。

なお、お時間の都合上、大変恐縮でございますが、お名前のみのご紹介とさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

はじめに、大垣市PTA連合会校外指導委員会副委員長の栗山一嘉様でございます。

岐阜協立大学ボランティアラーニングセンター代表の中村優貴様でございます。

大垣市青年のつどい協議会会長の野田正興様でございます。

なお、本日はご都合により欠席ですが、

大垣市連合自治会連絡協議会副会長の堀和英様と、岐阜県西濃保健所健康増進課長の丹下文恵様でございます。その他の委員の皆様につきましては、お手元に配布してございます、委員名簿をもってご紹介に代えさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、委員会設置要綱の規定に基づき、議長は委員長をもって充てることになっております。山田委員長様に、ごあいさつのあと、議事進行をお願いしたいと存じますので、山田先生、どうぞよろしくお願い申し上げます。

<委員長>

みなさんこんにちは。今年度もコロナ禍で3年目ということとなります。昨年度は行動制限がある中で、可能な事業を臨機応変に展開していただきました。事業に携わって下さった皆様そして事務局の皆様にお礼を申し上げたいと思います。

現在進めております「第四次地域福祉計画」この計画も来年5年度をもって終了し、新たな計画を策定する形になります。今年度は来年の最終年に向けて「第四次地域福祉計画」の総仕上げに入っていく段階であります。まだまだコロナも収まっておりませんが、令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画におきまして忌憚のないご意見をよろしくお願いいたします。

はじめに、議事の大垣市第四次地域福祉計画令和3年度事業実績についての事務局からの説明をお願いします。

<事務局>

※資料に基づき説明

<委員長>

ありがとうございました。

それでは、ただいま説明のありました、「大垣市第四次地域福祉計画令和3年度事業実績について」ご意見、ご質問等のご発言をお願いいたします。

なお、ご発言の際は、個別事業番号をおっしゃっていただきますよう、お願いいたします。

<委員>

まず11番ですが、子育てサロンについてです。対象地域は、西、三城、赤坂になりますが、なぜこの3か所に限定されるのか、この地域が子育て世帯が多いようには見受けられない、どちらかというが高齢化率が高いところだと思うのですが、そういったところで事業を行って、対象者としては少ないのではないかという懸念があります。

次に、41番のボランティアに関する相談窓口について、ボランティアコーディネーターの方が1名から4人に増えたということでございます。それだけの方が増えることについて、どのような役割をされるのか、コーディネーターは職員がやられるのか、それともボ

ランティアに携わる我々のような者を市民のコーディネーターとしての処遇があるのかどうかをお聞きしたい。

それから 135 番、災害ボランティアについて、これも私のことに関係があるので質問させていただきます。災害ボランティアセンターは災害時に設置されるという、これは市の要請に基づいて社会福祉協議会が設置されるわけですが、かなり今回シミュレーションするというので充実しておやりになるということでございますので、このように実施していただきたいと思います。それからボランティアの災害救援部会がかつこととして入っております、実際にこのような方々をどのように活用していくのかということも含め、部会の方に認識があるのか、ないと思いますのでその辺についてももしっかり説明いただいて、そういった方々をそういう風にボランティアセンターの一員としてシミュレーションをやっただけであればと思います。

続いてこれは全般的にかかわることですが、あんしん見守りネットワークとか、さわやか見守り Eye という言葉が出てまいります。そういった方々に市民ボランティアとしてご活躍いただいているのだと思いますが、それらが似たようなことをやるわけですね。あんしん見守りネットワークも、さわやか見守り Eye も。多少主体が違いますけれども。情報の共有化がされているかどうか、それぞれやりっぱなしではないか、対象者は似たような方を対象とされていますが、例えばあんしん見守りネットワークとさわやか見守り Eye が連携されているのかどうか、情報を共有化して、できればより内容の充実した支援になるのではないかと思います。これはいろいろなところに出てきますが情報の共有化されるかどうか、意外とされていないのではないかと思いますので、それについてお願いしたいと思います。

それから、全般になるのですが、今社会的な話題でヤングケアラーが非常に出てまいりました。そういった問題を包括して、どのように大垣市は対応していくのか、これは教育問題にも関わるかもしれませんが、福祉にもかかわることだと思いますので、こういったことの対応について、大垣市はどうされるのかということについて、非常に疑問に思いますので質問させていただきます。

<委員長>

ありがとうございました。委員さんの方から何点かご質問いただきました 11 番子育てサ

ロンについて、開催場所が少ないのではないかというご意見、それから 41 番ボランティア相談窓口の充実につきましては、令和 4 年度の事業計画についてのことでしたので、この後の説明の際に、それから 135 番災害ボランティアセンターに関しましても令和 4 年度事業計画に関するものでしたので、後ほど説明をお願いします。さらに全般にかけてということで、あんしん見守りネットワークと見守り Eye の情報共有化、さらにヤングケアラーについては令和 3 年度に行って検討したことがありましたら、説明をお願いしたいと思います。それ以外のことに関しましては、令和 4 年度の事業計画の際にお願いしたいと思います。

では事務局からお願いします。

<子育て支援課長>

子育てサロンについてでございますが、こちらの方は母親等が育児不安を感じないように、軽減するように子育てサロンを開催させていただいているものでございます。市内の東西南北でそれぞれサロンの場所を作るということで、西、三城、赤坂、南は南部子育て支援センターをご活用いただきたいというところでございます。しかし中々コロナの影響でそちらに足を運ぶということが難しいということで、令和 3 年度は事業実績にも書いております「おうちで子育てサロン」という制作キットを無料で配布し、子育ての動画配信などを行いまして、子育てサロンに代えてサービスを提供させていただいております。

令和 4 年度に、サロンの 3 か所から 6 か所に増やして開催を考えております。よろしくお願いします。

<社会福祉協議会局長>

あんしん見守りネットワークおよびさわやか見守り Eye の件ですが、基本的に対象者が、さわやか見守り Eye はお子様というところがベースとなる地域の見守り活動ということで、20 の地区社協、26 の連合自治会の方で、自治会長様、民生委員さんそして福祉推進委員の方々が年に数回集まられて、いろいろ情報提供をされているということがあります。見守り Eye の関連で言うと PTA、学校側と関わりながら、というところ。ですので、あんしん見守りネットワーク活動とさわやか見守り Eye というのは対象が変わってくる状況です。さらにあんしん見守りネットワークにつきましては、一人暮らし高齢者、高齢者ご夫婦、障がい

者の方々地域の方の生活の見守り活動を重視しながらも、さらに災害時の要援護というところで、何かあったときに誰が見守っていくかということを経済協または自治会のなかで情報共有をしていただいているという風に認識しておりますので、よろしく申し上げます。

<子育て支援課長>

ヤングケアラーにつきまして話をさせていただきます。ヤングケアラーについて、それぞれの現場で該当となる方を把握していただき、それをどこかの部署が集約管理し、支援につなげていくことを国の方も示しておりますので、体制につきまして現在検討しているところでございます。よろしくお願いたします。

<委員長>

ありがとうございました。

それではほかにご意見等ございましたらよろしくお願いたします。

よろしいでしょうか。続きまして大垣市第四次地域福祉計画令和4年度事業計画につきまして事務局から説明をお願いします。

先ほど委員からご質問のありました41番、135番につきましても追加の説明をお願いいたします。

<事務局>

※資料に基づき説明

<委員長>

ありがとうございました。

それでは、41番ボランティア相談窓口のボランティアコーディネーターの増員に関して、さらに135番災害訓練、令和4年度のシミュレーションをどのように行っていくかということに関しまして、追加の説明がありましたらお願いたします。

<社会福祉協議会局長>

まず一点目、41番ボランティアコーディネーターの設置ということで、4人という人数にな

っておるといふところは、今年度になりましてから社会福祉協議会の機構改革をさせていただきますまして、地域のふくし相談課というすべてを網羅する課として立ち上げました。そちらの方には地域支援係ということで、Aチーム、Bチーム、Cチームに分けて事業展開しておりますまして、そのうち1つのグループがボランティアの担当業務を担うということです。発想としましてはひとりだけがボランティアコーディネーターでは、その担当者がいない場合にも他の者で対応できるというようなところで、1グループ全員がボランティアコーディネーターということでの名称という形で進めさせていただいており、皆様からのご相談等には、担当者がいないからということではなく、4名が対応していけるようにという形の、機構改革に伴うあて職ということで対応させていただいております。

次に135番災害ボランティアの受入体制ということでは、一つ目では総合防災訓練、市が実施しておりますまして今年度は昨年度に引き続き未開催というところがございますが、そちらで継続してボラ連に加入しております災害救援部会の中で、福祉推進委員の方や、災害ネットワークのような方々の皆様にご協力をいただきまして、もし何かあった場合にどの方々が逃げになっているか、被災の状況によってはボランティアの保険は必要かどうかをシミュレートすることをここ最近毎年開催させていただいております。市全体の取組に対して、社協及び災害救援に関わる団体の方々のご協力の中で進めてまいりたいと思っております。

また、当法人のボランティアセンターの立ち上げとなった場合、全ての職員がその時にいるのかどうかというところがございます。そういった中で毎年一回開催しておりました研修の方を、二回に増やし、職員がいろいろな担当、受付であったり派遣であったり、備品調達など、複数回シミュレーションを職員間で行うことで、災害が起きた際に対応がスムーズにできるように、職員の中の研修を今年度企画させていただきながら、進めさせていただきます。委員さんからもお話ありましたボラ連さんとの関わりというところもいろいろ考えながら進めてやってまいりたいと思っております。

<委員長>

ありがとうございました。

この回答でよろしかったでしょうか

<委員>

分かりました。

<委員長>

ありがとうございました。

その他にご意見、ご質問等のご発言をお願いいたします。

なお、ご発言の際は、個別事業番号をおっしゃっていただきますよう、お願いいたします。

他にございますか。

ご発言もないようですので、議事の「大垣市第四次地域福祉計画令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画」の承認について、ご異議ありませんでしょうか。

(委員から「異議なし」の声)

<委員長>

ありがとうございました。

続きまして報告事項「大垣市第五次地域福祉計画策定について」「地域活動活性化の取り組みについて」事務局から説明願います。

<事務局>

※資料に基づき説明

<委員長>

ありがとうございました。

以上で、予定しております議事はすべて終了いたしました。全体を通じてご発言等ございましたら、お願いいたします。

<委員>

第五次地域福祉計画についてなんですが、これは意見というか希望なのですが、資料ナンバー1の5ページを見ても、取組事業が高齢者であるとか障がい者福祉に比較的偏っている印象があって、地域福祉というと子どもから高齢者まで、国であっても孤立孤独対策が言わ

れていると思うので、大垣市は子育て日本一というふうに謳われておりますし、ぜひ地域福祉に子育て支援を入れていただきたいです。

さらに地区社会福祉協議会懇談会の開催とあるのですが、参加者の方が若い世代が少ないのではないかと思います。なかなかこういう場に出でこないということもあるので、子育てサロンで代替するとか、各地域で行っている子ども食堂であるとか、地域の見守り活動、子どもに重点を置いたような活動もあると聞いておりますので、そういったところに足を運んでいただき、考えていただければと思います。

<委員長>

ありがとうございました。

第五次地域福祉計画の子育て支援について、懇談会についてもご意見をいただきました。事務局の方から何かございますか。

<事務局>

子育てについてはもちろん地域福祉計画に含める形で計画の方は策定の検討をしてまいりたいと思いますのでご了承いただきたいと思います。それから実際の懇談会につきましては、全部で7回開催させていただきました。その中でやはり出席者は高齢者の方が多いのが現状です。ですが中にはお子さんをお連れになりながらも参加されている方もお見えになりましたのでそういったところでは、懇談会を開いてよかったかなと思っております。これからも懇談会を行ってまいりますので、そのあたりを含めながらやっていけたらと思っております。よろしくお願いいたします。

<委員長>

ありがとうございました。

ほかに全体を通じて何かありましたらご発言をお願いします。

<委員>

第五次地域福祉計画のアンケート、懇談会を設けて、そういったところからご意見を、という風に伺ったのですが、前回の第四次のアンケート調査では18歳以上の市民に皆さ

ま、自治会長さん、あと民生・児童委員の方 100 名、福祉推進委員さん 100 名となっております。なぜ全員の方からアンケートを取らないのか。やはり地域を支えてもらっている重要な方たちですので、民生・児童委員さんの全員とかそういった方たちのご意見を反映していただき、第五次を策定していただきたいと思います。

そして第四次計画の際にお話ありましたが、充実事業があったと思うのですが、数値を超えたから充実したという風に発言されている。本当に中身がそうなのかなというところがある。そういったことから第五次地域福祉計画ではしっかり総括していただき、やっていただきたい。

それとコミュニケーションの一つとして目の不自由な方には点字、耳が不自由な方には音訳というふうになっておりますけれども、そういった活動に対する支援が十分にされていないのではないかと思いますので、ソフト・ハード面からもきちっとした支援をしていただき、私たちにも支援の情報を伝わるように、計画でも明記していただければと思います。

<委員長>

ありがとうございました。

委員さんの方から、第五次地域福祉計画のアンケートについて、点訳や音訳に対する支援についてご意見をいただきました。

事務局の方から何かございましたらよろしく願いいたします。

<社会福祉課長>

委員さんのおっしゃる通り民生委員や福祉推進委員さん、多くの方からお話を聞くことは大事だと認識しております。アンケート並びに地区懇談会におきましても、多くの方からご意見を伺いながら進めてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

また、委員さんがおっしゃる評価の仕方について、おっしゃる通り大事なものは中身でありまして、数字は一つの指標ではあるのですが、中身にこだわって進めてまいりたいと思いますのでよろしく願いいたします。

<障がい福祉課長>

今ご意見いただきました点字・点訳についてですが、委託している事業の中で、計画通り

やっただいていてるところでございすが、この事業を行う前に、昨年度から事業者との意見交換という形で我々担当課と話をする機会を設けております。引き続き事業をお任せしている団体と意見交換をしながら進めていきたいと思っております。

<委員長>

ありがとうございました。

ほかに何かありましたらご発言をお願いします。

<委員>

140 番のバスのバリアフリーの推進ということで、高齢者の方には大切なことだと思いますが、私たち民生委員の多くの者が、お年寄りから「日中にバスの本数が少なくなる中で、免許を返納しても足が確保できないので返納できない」という話を聞いています。ぜひ小回りの利くコミュニティバスとかを運行していただければありがたいという意見もたくさん聞いております。その点についてご検討いただけるとありがたいのかなと思います。

地域の方は、幹線道路しかバスが走っていないと、そこまでとても歩いていける距離ではない方も大勢いらっしゃいます。小回りの利く、高齢者の方にとってバス停がもっと近くにある生活道路についても検討していただければありがたいと思います。

<委員長>

ありがとうございました。

ただいまバリアフリー化についてと、高齢者の方に小回りの効くコミュニティバスの検討をお願いしたいということでしたが、事務局の方から何かございましたらよろしく願いいたします。

<事務局>

いただきましたご意見を交通政策課の方にお伝えしまして、また検討させていただきたいと思しますので、よろしく願いいたします。

<委員長>

ありがとうございました。

ほかに何かありましたらお願いします。

特にはよろしいでしょうか。

ご発言もつきたようですので、以上で議事を終了させていただきます。

委員の皆様には、円滑な議事進行にご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

<社会福祉課長>

委員長、ありがとうございました。

委員の皆様には、ご審議をいただきまして、誠にありがとうございました。

本日、頂戴いたしました貴重なご意見等は、地域福祉計画の進行管理にぜひとも活用させていただきたいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。

また、最後に社会福祉課の小川主幹より申し上げました地域福祉活動の活性化ですが、新型コロナウイルス対応は初めての経験でありますので、大変対応に苦慮されていると思います。その中でも感染防止対策を一生懸命やっただきながら、地域福祉の活動の活性化について、各団体さんが取り組んでいただいていることに感謝申し上げます。コロナの対応で約3年となりますが、ゼロコロナという風にはならないというのが分かってきた現状でございます。政府の方も県の方も感染対策をしっかりしながら、社会活動を回していくという基本方針を示しております。今のように感染急拡大のときは感染防止に重きを置かなければいけないですが、地域福祉活動はなくてはならないものだと思っておりますので、また各団体さんと協力しながら、できるものは感染防止対策をしながら取り組んでいく、難しいものは代替案を考えていくということで、不断の努力を続けてまいりたいと思っておりますので、今までの皆様のご努力に感謝しながら、あるいは今後の取組についても一緒に取り組んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして、「令和4年度 第1回 大垣市地域福祉計画策定・評価委員会」を閉会とさせていただきます。本日は、大変お世話になりました誠にありがとうございました。